

氏名	須永 康代	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	生体運動学, ウィメンズヘルス理学療法学				
学位	博士 (保健学)				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科卒業、2011年広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座博士課程前期修了、2018年広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座博士課程後期修了				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助手、2010年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教、2020年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科准教授				
所属学会 (役職)	一般社団法人日本理学療法学会連合 日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会 (総務担当理事)、埼玉県理学療法士会 ウィメンズヘルス推進委員会 (副委員長)、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 (学術集会企画運営委員、評議員)、専門リハビリテーション研究会 (学術編集部長)、日本母性衛生学会 (査読員)、臨床歩行分析研究会、日本女性骨盤底医学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	労働者が職場において疎外感や差別を感じる要因に関する実態調査 教育機関における労働環境改善の視点から	共著	あり		労働安全衛生研究, 16 (2), 181-189	保科寧子, 鈴木幸子, 渋谷えり子, 内山真理, 須永康代, 辻本健, 森元二, 高木薫
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	骨盤支持ベルト装着下における妊婦の歩行時バイオメカニクス特性	共同		第9回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会, 岡山市	須永康代○, 小管倅子, 小管美緒, 池上慶篤, 河野光裕	2023年11月
2	奨励賞, 健常若年女性の月経周期における全身的な着地戦略と関節弛緩性の関連	共同		第9回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会, 岡山市	小管幸子○, 須永康代	2023年11月
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	妊娠期・産後の機能障害に対する予防理学療法の可能性	単独		第10回日本予防理学療法学会学術大会, 函館市	須永康代○	2023年10月
2	事例報告 ウィメンズヘルス (産前産後) のチーム	単著		第58回日本理学療法学術研修大会, web	須永康代○	2023年5月
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科研費基盤 (C)			産後の姿勢制御因子の動態に関与する腹筋群における質的・機能的変化の実態解明	研究代表者	2023.4-2025.3
2	埼玉県立大学研究開発センタープロジェクト研究費			妊産婦の健康課題解決に向けた子育て世代地域包括ケアシステム構築のための実証研究	研究代表者	2022.4-2024.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)		
1	発達障害理学療法学	○	3	運動発達や動作の発達について画像や動画を活用して講義を行った。		

2	神経障害理学療法学	○	3	神経疾患とその理学療法について画像や動画を活用して講義を行った。
3	理学療法応用技術学B（予防・産業）	○	8	産業保健における健康問題について、グループワークを交えて講義を行った。
4	ウィメンズヘルス理学療法学	○	8	女性のライフサイクルにおける変化と特徴的な疾患についての講義と理学療法評価・治療に関する実技を行った。さらに文献抄読を通して理解を深めた。
5	ヒューマンケア論		10	様々な領域でのヒューマンケアにおける意義やニーズについて理解を深めるため、学内および学外講師の講義運営や学生対応を行った。
6	障害予防特論		4	女性における機能障害評価とその予防について、最近の研究報告をもとに講義を行った。
7	リハビリテーション教育学Ⅱ		1	臨床教育実習前後における教育評価とその目的について、CBTやOSCEの近年の動向を踏まえた講義を行った。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	リハビリテーション学演習（障害予防学）		10	性差とバイオメカニクスの視点から、最近の研究動向を踏まえて検討を行った。
2	理学療法研究法演習		0.5	ウィメンズヘルス理学療法領域の研究について紹介し、最新の情報を提供できるよう工夫した。
3	理学療法セミナー（OSCE1）		8	臨床教育実習に向けた問診や医療面接技術を習得できるよう、客観的臨床能力試験（OSCE）における評価・フィードバックを行った。
4	理学療法セミナー（OSCE2）		8	臨床教育実習に向けた理学療法評価やプログラム立案・実施について習得できるよう、客観的臨床能力試験（OSCE）における評価・フィードバックを行った。
5	理学療法特別演習		0.5	人間発達学・小児理学療法分野における国家試験の過去の出題傾向をふまえた演習を行い、国家試験に向けたサポートを行った。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		14	グループワークでの活発なディスカッション、円滑な進行が行えるようファシリテートを行った。
2	運動学実習		20	歩行分析、筋活動について、実習を通して手法を学び、生じた結果に対する考察により理解を深めるよう指導を行った。
3	発達障害理学療法学実習		5	正常発達、発達障害児における理学療法評価およびアプローチの実践について授業を行い、理解を深めた。
4	神経障害理学療法学実習		3	脊髄損傷の理学療法について、動画を用いて概説しながら実習を行い、理解を深めた。
5	臨床教育実習Ⅰ		2024.2.29-2024.3.2	2年次生を対象に2週間の検査・測定実習を実施した。実習中は実習指導者との状況確認を行い、実習後は学生の報告をもとにフィードバックを行った。
6	臨床教育実習Ⅱ		2023.9.25-2023.10.28	3年次生を対象に5週間の評価実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。
7	臨床教育実習Ⅲ		2023.4.17-2023.6.10	4年次生を対象に6週間の臨床実習、学内補充実習での発達障害理学療法領域における授業（4コマ）を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。

8	臨床教育実習Ⅳ	2023.6.26-2023.7.29	4年次生を対象に3週間の地域/特定領域実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。
---	---------	---------------------	--

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4-2023.12	主指導 5名	副指導 名
2	修士論文	2023.4-2024.3	主指導 (指導教員) 名	副指導 (指導補助教員) 3名
3	博士論文	2024.1-2024.3	主指導 (指導教員) 名	副指導 (指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	4年次学年副担任	2023.4-2024.3	ガイダンス, 面談等を実施し, 学生生活の支援を行った。	
2	ゼミ担当	2023.4-2024.3	1~4年次生を対象にゼミ活動を通して学生間の交流を図ることができた。3・4年次のゼミ生には, 卒業研究に向けた研究指導を行った。	
3	藤リハビリテーション学院 非常勤講師	2023.10	藤リハビリテーション学院の運動療法を非常勤講師として4コマ担当した。	
4	春日部市立看護専門学校 非常勤講師	2023.9	春日部市立看護専門学校の解剖生理学IIを非常勤講師として4コマ担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県立大学 理学療法学科臨床育実習受け入れ施設対象講習会	埼玉県立大学 理学療法学科	ウィメンズヘルス理学療法の基礎と実践	2023.8
2	録画配信セミナー	ジャパンライム株式会社	妊娠中から産後における姿勢と動作の解析	2023.11
3	録画配信セミナー	日総研	妊娠期から産後の身体の変化と骨盤周囲のケア	2024.3
4	草加菅原レディースクリニック 勉強会	草加菅原レディースクリニック	骨盤底筋体操	2023.9
5	浅岡産婦人科 勉強会	浅岡産婦人科	骨盤底筋体操	2023.12
6	川口さくら病院 勉強会	川口さくら病院	高齢者の尿失禁	2024.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	一般社団法人日本理学療法学会連合 日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会	学会連合総務委員会委員, 総務担当理事		2022.6-2024.6
2	一般社団法人日本理学療法学会連合 日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会	第10回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会 副大会長		2023.5-2025.2
3	埼玉県理学療法士会	ウィメンズヘルス推進委員会 副委員長		2023.4-2024.3
4	日本母性衛生学会	査読員		2019.4-2024.3
5	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事		2021.4-2023.3
6	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	第14回学術集会企画運営委員		2023.4-2024.3
7	専門リハビリテーション研究会	学術編集部部长		2022.4-2024.3
8	草加市男女共同参画専門委員	委員		2023.2-2024.9
9	社会福祉法人みんなぎ	評議員		2023.4-2024.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント相談員		2023.4-2024.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会		2023.4-2024.3

3	全学的委員会及びセンター業務等	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 理事	2023.4-2024.3
4	学科等における委員会等	国家試験対策・支援	2023.4-2024.3
5	学科等における委員会等	PTOT合同就職説明会	2023.4-2024.3
6	大学広報活動	オープンキャンパス	2023.4-2024.3
7	学生支援	4年次生副担任	2023.4-2024.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	奨励賞（共同演者）	第9回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会 学術大会	2023.11
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		